

以下の①から⑤の新聞記事の中から二つを選び、それぞれ次の点につき答えなさい。

1. 記事において問題となっている労働法上の論点
2. その論点の前提となる法の説明
3. その論点に関する諸説
4. その論点に関する自らの見解

注意：1. 選択した記事番号を明記すること。二題の解答がないと回答とは認めない。二題の解答の順序は問わない。

2. 一題を解答用紙の表面に他の一題を裏面に書く目安で記述すること。

3. 設問1から4のいずれに解答しているのか明記すること。

4. 採点基準（各問50点満点、合計100点満点で採点する）

a) 設問の1. から4. の項目毎に、基本的には○△Xの三段階評価を行う。

b) 必要なことが述べられていれば○で10点、不十分ならば△で5点、

関係することが何も述べられていなくXで0点。

c) さらに、独創的な考えがみられた場合には、各問共に10点の範囲で追加点をつける。

### ①富士宮消防事件

朝日新聞 2012年08月16日付より作成

富士宮市が2010年までの約5年間で、消防職員の休日勤務手当のうち約8200万円を支給せず、対象職員約170人と受け取り放棄で合意していたことが、15日分かった。市も過払い分約4400万円を放棄した。市は昨年1月、消防職員らに対して、未払い分の受け取りの放棄を打診。1人を除き全対象者の合意を得た。市は同2月、市議会の承認を得て、過払い分の請求を放棄した。この対応で当時の市幹部らは労基法違反など容疑で刑事告発されているが、市は「未払い分の請求放棄は職員の自主的な判断。市の説明や対応は適切だった」としている。

### ②立山町職組事件

朝日新聞 2013年09月10日付より作成

立山町職員組合に勤めていた30代女性が9日、勤務当時に指導役の女性から度重なるパワーハラスメントを受けて精神的苦痛を負い退職に追い込まれたとして、この女性と同組合を相手取って、計400万円の損害賠償を求める訴訟を富山地裁に起こした。訴状によると、女性は組合の書記として昨年10月に雇用された。以前からいた書記の60代の女性から業務の引き継ぎを受けることになっていたが、この女性から、体形や服装について度々中傷を受けた。今年4月には町の施設利用のチケットを作る際に、無理な肉体的作業を強いられて指の関節炎になったと主張。勤務時間中の出来事で、組合には使用者責任があるとしている。

### ③トヨタ系列会社事件

朝日新聞 2016年03月17日付より作成

トヨタ系列の下請け会社員だった男性（当時37）の突然死は過労が原因だとして遺族が国を相手取り、労働基準監督署の労災保険不支給決定の取り消しを求めた訴訟で、名古屋地裁は16日、原告の訴えを棄却した。訴状によると、救急車の部品組み立てなどをしていた2011年9月に虚血性心疾患で死去。遺族は直近1カ月の時間外労働が国の過労死認定基準の約100時間だったと労基署に訴えたが、85時間と認定され労災保険は不支給とされた。訴訟では、うつ病も発症していた敏博さんには過重労働だったと主張。だが判決は、「特に過重な長時間労働に従事していたとは認められない」とした。

### ④河合塾事件

朝日新聞 2016年09月24日付より作成

学校法人「河合塾」が、講師を不当に「雇い止め」したとして、再び就労させる契約を結ぶよう愛知県労働委員会が命令した。雇い止めをされたのは、東京都や神奈川県などの河合塾で講師をしていた男性（54）。命令書によると、男性は2013年8月、組合活動の一環で、労働契約法改正の要点をまとめた厚労省のリーフレットを予備校内で職員らに配った。これに対し、河合塾側は13年11月、「法人の施設管理権を侵害した」として、佐々木さんに翌年度の講師の業務委託契約を結ばない方針を書面で通知したという。

### ⑤ミカド観光センター事件

朝日新聞 2013年03月22日付より作成

南島原市と雲仙市のホテル従業員3人が運営会社のミカド観光センターを相手に解雇後の月々の賃金相当額を求めて起こした訴訟の判決があった。判決によると、3人は、社内結婚を控えた女性従業員に会社側が退職を迫ったことに反発し、労働組合を結成。労組で執行委員長や書記長などのリーダーとなって女性に退職を強要した男性課長の退職などを求めた。しかし、会社側が話し合いで解決する姿勢を見せなかったとして、組合員39人がストを実施。会社側はストを主導し、業務に支障を与えたとして3人を懲戒解雇処分とした。会社側は、男性課長の退職については「労組が求めることのできない経営事項だ」と反論。